

## 目的

近年、豊富な森林資源を活用し、木材生産のみならず、森林空間が有する癒し効果を活かした体験サービス等の提供によって新たな雇用や所得機会を生み出す新しいビジネスとして「森業（森林サービス産業）」が注目されています。

このことから「森業」を推進するため、森林空間を活用した新規の事業構築に向けた気運の醸成や、スタートアップ等への支援に取り組むとともに、森林の価値向上に挑戦する人材の発掘・育成に取り組みます。

## 現状と課題

### 【現状】

○近年では、日本国民の生活スタイルや志向が変化し、森林空間を積極的に活用したいという期待が高まり、そのニーズは多様化している。

### 【課題】

○人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しており、地域の森林資源を有効に活用することができていないところがある。

○「森業」に取り組もうとする企業・団体にとって、事業の進め方やフィールドの確保、地元との連携などの支援や相談窓口がない。

## 令和8年度の実施

1. 森業スタートアップ活動促進事業費（事業費 3,801千円）  
○「森業」に関する先進的な取組紹介やベンチャーをテーマとした講演等のセミナーの開催、支援窓口の設置のほか、活動地や市町とのマッチング支援、専門家派遣等

2. 森業人材育成支援事業費（事業費 1,519千円）  
○「みえ森林・林業アカデミー」において、「森業」に取り組む人材を発掘・育成するため、地域資源活用・会社経営・マーケティングに関する講義や演習等の起業者向け講座の開催

## 期待される効果

森林に新たな価値を見出し、森林空間を活用した新たなビジネスが起これ、森林の価値向上や山村地域における雇用創出・所得向上につながるとともに、山村地域の活性化や森林整備が促進されることによる公益的機能の発揮が期待されます。